



木本八幡宮の秋祭り (和歌山市西庄)

木本八幡宮は、『紀伊續風土記』に記載があり、八幡宮としては、たいへん古い部類に入る神社です。

毎年、10月13日を過ぎた土曜、日曜日に秋のお祭りが開かれています。秋祭りで奉納される獅子舞は、地上の舞とだんじり上の舞があります。

特に地上約5mで行われるだんじり上の舞は、舞台である青竹の上を一体の雄獅子が笛や太鼓、鉦の音に合わせて演じます。激しくアクロバティックな獅子の舞を披露し、観衆を驚かせています。

獅子舞は、和歌山県の無形民俗文化財に指定されています。

写真／甲佐 洋三さん(岩出市)

文／神崎 義美



和歌山中央医療生協事業所のご案内

- 和歌山生協病院 ……(073)471-7711
- 在宅介護支援センター和歌山生協病院 (073)474-2711
- ヘルパーステーション・協同 ……(073)471-7728
- 和歌山生協病院附属診療所 ……(073)471-8171
- 生協こども診療所 ……(073)476-4455

- 生協こども診療所 診療予約電話自動受付 (073)471-0099
- サービス付き高齢者住宅「生協にし」 (073)476-4477
- 生協中之島
- 複合型サービス ……(073)422-3476
- デイサービス ……(073)422-2003

- 訪問看護ステーション・生協みなみ (073)435-5661
- 地域支えあいセンター虹 ……(073)435-6611
- 生協芦原診療所 ……(073)423-4349
- 河西診療所 ……(073)451-6177
- おおみや診療所 ……(0736)61-6151
- 総合介護支援センター デイサービスげんき (073)487-3388

生協強化月間
10～11月

第29回組合員・職員活動交流集会

組合員、職員の創意と力を結集して、目標達成を

9月9日(土)、和歌山市の北コミュニティセンターにおいて、「第29回組合員・職員活動交流集会」が開かれ、およそ250人の組合員、役職員が集まりました。

午前10時に開会。最初に山本理事長から、今日の医療生

協を取り巻く情勢と会議の目的について、あいさつがありました。社会保障制度が次々と改悪され、毎年、1500

億円ずつ財源が削られていく情勢です。その中で、医療生協が組合員を増やし、大きく足腰強く成長していくことが、情勢を転換する大きな力になることが強調されました。

地域での

多彩な取り組みで 住民と結びつこう

久保田専務からは、今年の「生協強化月間」に取り組み、具体的な行動提起が行なわれました。組合員増やしを柱に、地域で多彩な取り組みを行ない、住民と結びついていくことの重要性が話されました。また今年は、立命館大学との



共同研究として、アンケート行動が取り組まれます。この行動を通して組合員どうしのつながりを強めていくこと、組合員の要求をつかみ、運動と事業活動に活かしていくことが話されました。

落語で

気軽に聞けた

認知症の講演

その後、和歌山県立医科大学・神経内科学教室の廣西昌也先生が、「認知症」について、落語による講演がありました。



高齢化社会の進行で、認知

症患者さんは確実に増えていきます。2つの動作を同時にすることで認知症の予防になります。家族が認知症にかかったら、安心して生きていく方策を見つけ、その際、誰か一人が支えるのではなく介護保険制度などをうまく使って、負担が偏らないようにしていくことが重要です。

組合員アンケート の実施について

午後からは立命館大学の佐藤卓利教授が、月間中に取り組みアンケートについて、その内容、項目について一つひとつ丁寧に解説をされました。その後、参加者でアンケート用紙に記入していき、わからないことや調査項目についてのアイディアなどを出しました。

各地区と生協病院 から活発な 取り組みを発表

続いて、5つの地区と生協病院から今年の強化月間をどう取り組んでいくかを中心に、報告が行なわれました。困っている人に何でも相談してもらえる生協をめざそう。ふれ愛力フェの輪をもっと広げていき、組合員増やしにつなげていきたい。地域で健康チェックを行ない、医療生協への加入を訴えていく。「せ」の行動では、外来患者で未組合員のところを訪問したい。全職員の力を集めて、目標達成に向けてがんばりたい。などの発言がされました。

10月、11月の「医療生協強化月間」を組合員増やしを柱に、組合員、職員の創意と力を結集して、目標達成に向けて奮闘することを、確認する集会となりました。

10月1日から「生協強化月間」がはじまりました

各地区で「せーの行動」を実施

毎年秋に行っている生協強化月間が10月1日からスタートしました。

仲間ふやしこそすべての活動(事業・組合員活動)に共通する柱と位置づけ、8～9月にかけて各地区で準備され、10月から本格的に取り組まれます。

東・中地区では、9月30日の午前と午後の2回に分けてせーの行動を行いました。行動を始める前に、集会を開いて、行動内容を確認しました。行動には組合員7名、職員31名が参加しました。142件を訪問し、対話が52件、そのうち5件が加入につながりました。

河西地区では、9月30日(土)午後からせーの行動を行ないました。当日は職員5名、組合員1名の参加でした。職員中心とした3コースで訪問行動を行ないました。くすみ支部では予備の日として10月3日に1コース訪問を行ないました。地区全体の行動参加者は9名、4コースで28件回り、対話は17件、加入1件でした。

那賀地区でも、9月30日(土)にせーの行動を行いました。当日は岩出、打田の2支部での行動となりました。貴志川支部は10月7日に行動を行ないました。

岩出支部では、組合員7名、職員3名の参加で37件のお宅を訪問。24件と対話し4件の加入につながりました。打田支部は、4件を訪問して3件と対話ができ、そのうち1件が加入に結び付きました。そのほか診療所窓口で1件の加入があり、9月30日のせーの行動としては合計6件の加入実績となりました。

海南海草支部は、10月1日(日)10時からせーの行動を行いました。行動には、職員・組合員合わせて11名が参加。デイサービスと居宅管理の利用者でまだ加入されていない利用者宅やげんき昼食会への参加者宅への訪問を計画。名簿と地図を準備して4チームに分かれて行動し、組合員名簿から未加入の家族を株分けして加入を増やすなどのとりくみで、当日の成果は新規加入7件、増資4件となりました。行動前に持ち寄った加入、12件と併せて、合計19件の新規加入を増やすことができました。



続けてます！住民向け学習会

和歌山生協病院 サポートセンター
森田 正栄

2014年4月和歌山生協病院は、和歌山県の委託を受けて在宅医療拠点事業を開始しました。地域包括ケアシステム時代に向けて医療と介護の連携を強化する事業でした。その中に「地域住民に対し在宅医療に関する啓もう活動をする」ことがあげられていました。2014年度は1回のみで開催になりましたが、2015年度は2か月に1回開催するという計画をたて病院の各部署に講師を依頼し、在宅医療に関することのみではなく医療生協のモットーである、地域で健康に生活することも大切と考える内容を検討し開催しました。

一部紹介します。栄養士による「高齢者にとって望ましい食生活」、理学療法士・作業療法士による「転倒予防と体操」、ディケア職員による「明るい認知症闘病生活をめざして」、畑医師による「在宅医療における災害時、緊急時の対応について」などです。いつも40名から50名参加していただきました。

場所は、わかばのホールをお借りして、開催日も第2土曜日の10時30分から1時間と決めました。年6回の学習会を開催することにより顔見知りの方が増え「カレンダーにまるして忘れないようにしてるよ」「次も来るか

ら予約しといてよ」という声になりました。学習会が終わると個別に介護や医療の相談も自然と行われました。

在宅医療拠点事業は2年間で終わりましたが、地域の方が楽しみにしてくれている学習会は継続して行わなければと思い、次の年から3か月に1回開催することにしました。場所は生協病院の5階会議室に変更しましたが、開催日は変更せず定期的に行っています。

2016年12月から和歌山市の委託を受けて在宅医療介護連携推進センターの事業が始まりました。今はその事業の一つとして学習会を行っています。今後も地域に根差す病院の役割を果たすことと、地域住民のみならず顔見知りになるためにも学習会は継続していきたいと想います。



出会い ふれあい 支え合い ひろば

安原支部

ラフターヨーガサークルをやっています

安原支部は、2015年に結成された新しい支部です。きっかけはバス旅行参加者の中に安原地域の方がおり、体操をしようと呼びかけたのが5年前。現在も本渡会館で月2回「なでしこ班」として活動しています。

活動3年目に班員が中心となり、支部結成の運びとなりました。安原地域は今から50年近く前に、夜間のみの安原診療所が、2年ほど開設されたことがありました。その時代に多くの方が組合員となった関係で、各事業所から遠く離れていますが、組合員数は180世帯ほどいます。

それまで活動は殆ど行われていなかった安原支部ですが、体操に続いてラフターヨーガを始めました。毎月第2火曜日に開催しています。

今年の総代会での南地区の活動報告は6支部のふれ愛カフェ・サロンの紹介でした。それを聞いていた安原支部世話人の1人から後日、ふれ愛カフェの場所として「自宅の



一部を使ってもいいよ」とうれしい返事がありました。9月の支部会で11月オープン、カフェの名前は「なかよし」と決められました。今後さまざまな活動を通じて医療生協の輪を広げていきたいと思います。

おおみや健康秋まつり



小雨の中、おまつりを行ないました。例年より少し参加者は少なかったように思いますが、健康チェックは45名の方が受けられました。



シースお薬のはなし 11 お薬手帳の意味と注意点

ほのぼの薬局薬剤師 竹内 沙織

皆さんは自分のお薬手帳を持っていますか？お薬手帳が現在の形式で始まってからおよそ二十年が経ちます。今回は改めてお薬手帳の意味と、注意点についてお話します。

お薬手帳とは、持ち主が「いつ、どこで、なんのお薬をもらってどんな風に飲んでいるか」を記録する手帳です。適切なお薬を飲むためにはこの情報がとても重要です。

医療機関にかかる場合は必ず持っていきなさい。

正しい治療を受けるためにも、手帳を見せて今どんなお薬を飲んでいるか確認してもらいましょう。「長年変わらず同じお薬を飲んでいる」という事も重要な情報の一つです。また入院、転院時にはお薬が変わることが多いです。お薬手帳を持っておくことで薬の変化を記録しておきましょう。

お薬手帳は一人一冊。

医療機関それぞれにお薬手帳を作ってしまったら、同じお薬が重複したり、一緒に飲むべきでないお薬を、気づかず同時に飲んでしまう危険性があります。飲み過ぎによる副作用が出たり、十分な効果が得られないという事になるかもしれません。お薬手帳は分けず、一冊にまとめましょう。

万が一の時こそお薬手帳を。

例えば旅行先で体調が悪くなった時、災害時で避難した時、お薬手帳を持っていけばいつものお薬を正確に伝えることができます。ご本人が体調不良等で話せないときのために、ご家族にお薬手帳の存在を伝えておくことも大切です。

お薬手帳には日々の体調の変化や、相談したいことなどもメモしておくといでしょう。情報が伝わりやすいです。今まで起きたアレレギー、副作用症状を書き込む場所もあり、再び同じ症状で苦しまないためにも忘れず記録しておきましょう。





連載コラム

子どものケガと病気

生協こども診療所
所長 佐藤 洋一

第6回

意外！完全母乳では ビタミンD不足。



ビタミンDの 最近の知見

先日、外来小児科学会に参加しました。日常診療から離れて、新しい知識を吸収できる貴重な時間です。多くの学びがあったのだが、ひときわ衝撃を受けた発表がありました。「完全母乳栄養児はビタミンDが不足している」という趣旨のもので。今回は、このビタミンDについての最近の知見をお伝えします。

ビタミンDの欠乏はくる病を発症させます。くる病は、主に骨の変形と成長障害を呈します。栄養状態の悪かった昔には多く見られました。日光浴の推進と栄養状態の改善によりビタミンD不足によるくる病は減少しました。最近、生活習慣の変化により乳幼児のくる病が増加し、問題となっています。

母親の栄養と紫外線 ともに不足の傾向

ビタミンDの供給源には2つあります。食事などから栄養としての摂取と紫外線による皮膚での合成です。最近の生活では、そのどちらも不足しやすい傾向にあるようです。

食事面では、ビタミンDは魚や卵、キノコなどに多く含まれます。乳児用の調整乳（粉ミルク）にも多く含まれますが、母乳や牛乳にはビタミンDはわずかにしか含まれていません。さらに、食物アレルギーなどで母親の食事制限が行われると、容易に母乳中のビタミンDが不足となります。

一方、紫外線の不足は、紫外線の害が言われた1990年代ごろから進んでいます。母子健康手帳の記載が、日光浴から外気浴に変更されたのが1998年で、その後、年々紫外線対策が広まるともに、ビタミンD欠乏症が増加しました。今では乳幼児用の日焼け止めクリームや紫外線対策の商品が多く販売されていますが、日焼け止めクリームはビタミンD産生を大きく低下させます。さらに近年の美白ブームにより、母親のビタミンD不足も増長させています。

サプリメントで補充と 一定の日光浴を

母乳は乳児にとって最適な栄養源ですが、ビタミンDの含有量が少ないため、欧米ではすべての母乳栄養

児にビタミンDの補充を行うことが推奨されています。厚生労働省の日本人の食事摂取基準量（2015年版）によれば、ビタミンD摂取の目安が生後1歳までは1日あたり5.0μg（200IU）となっています。完全母乳栄養児では、母親のビタミンD不足を背景とした母乳中のビタミンD不足が生じやすい。そのため完全母乳栄養児にはビタミンDの補充が勧められます。ビタミンD補充用の保険適応薬はなく、サプリメントを利用することになります。

補充が必要な期間は出生後早期から離乳食が完了する時期までです。また、紫外線に浴びる必要があります。夏季では5〜15分程度、冬季では1時間の日光浴が勧められます。もちろん、日焼けしない程度に留めておくことが大切です。



日本では、欧米のようなビタミンD補充に関する推奨はまだ発表されていません。近年の乳幼児のくる病の増加により、何らかの対応がされると思われれます。欧米のように母乳栄養児全員にビタミンD補充が必要かどうか、適切な補充量はこの程度かは、今後の課題です。少なくとも、離乳食が完了する前までの母乳栄養児では、サプリメントによるビタミンDの補充と日光浴は必要です。

～組合員さんと一緒にすすめる医師養成～ ～地域のボランティアに参加しました～



東日本大震災や熊本地震など大きな災害がおきたことで、ボランティア活動に興味をもつ医学生がたくさんいます。災害ボランティアだけでなく、入院中の子どもに対するボランティアのサークルが和医大内で活動しているそうです。

それなら、地域のボランティアにも参加してもらおうと、組合員さんが運営されている「こども食堂」と「こども応援ひろば」を医学生に紹介しました。夏休み中でもあったので、医学生が参加することができました。

「こども食堂」では食後、小学生と将棋やカードゲームをしました。「こども応援ひろば」では、夏休みの宿題を一緒にしたあと、ドッジボールなどをして遊びました。どちらも医学生と子どもがすぐに打ち解け、にぎやかに遊ぶことができました。参加した学生たちは「楽しかったので、また参加したい」と話しています。

今後も継続して参加できるよう働きかけ、組合員さんの地域での活動に協力できるようにしていきたいと思っています。



お問い合わせやご紹介は、和歌山県民医連・医学生担当（TEL 073-441-5090）まで、ご連絡ください。

読者のひろば

読書の秋

夜、寝る前や、朝早く目が覚めたとき、市の移動図書館で借りた小説を読んでいます。好きな本が読めて、本場に有難いです。移動図書館の係の方達も、とても感じが良くて、いつも感謝しています。

和歌山市 和泉 みゆき

記事読んで大いに賛成

「子どものケガと病気」の記事から、おたふくかせのワクチンを接種すれば、難聴のリスクが軽減されるのであれば、強く自治体に働きかけることは、大いに賛成です。

和歌山市 坂口 俊美

気分は一茶

暑さにめげず、朝夕の庭の花に水やり。おかげで、めずらしい蝶々が遊びに来ています。気分は、小林一茶です。

和歌山市 日下 敏子



有難い情報です

毎回、健康の事、料理その他、たくさんのお出来事、楽しみながら拝読させていただいております。高齢なので、外出もつい遠のきまです。一人住まいには有難い情報ばかりで、嬉しく思っております。

海南市 中井 静子

表紙の写真が良かったです

9月号の表紙、和歌山マリーナシティ。しばらく出かけていませんが、和歌山とは思えない風景。きっと夏場は、にぎわっているのでしょうか。写真が良かったです。秋になってウォーキングの季節、歩こう会へでかけてみようかしら...

和歌山市 山野井 弘子

息子がハイハイ

10ヶ月になる息子が、最近ようやくハイハイできるようになりました。これからの成長が楽しみです。

和歌山市 木村 遥奈

川柳

河西でのカレーライスはあこおちる
和歌山市 最田 民子

職員募集のお知らせ

和歌山生協病院では、調理員（又は調理師）常勤1名と、洗浄パート1名を募集しています。詳しくは 073-471-7711（森岡）まで。

表紙写真大募集



「健康とくらし」表紙に掲載する写真を大募集。和歌山の風物を写したものであれば、なんでも結構です。どしどしお寄せください。

診療案内

和歌山生協病院

受付/午前 全予約制
午後 全予約制

和歌山生協病院附属診療所

受付/午前8:00～11:30 夜診4:30～7:00
診療開始時間/午前9:00～ 夜診5:00～

生協子ども診療所

受付/午前8:30～11:30 夜診4:00～7:00
診療開始時間/午前9:00～ 夜診4:30～

生協芦原診療所

受付/午前8:30～12:00 夜診4:30～7:00
診療開始時間/午前9:00～ 夜診5:00～

河西診療所

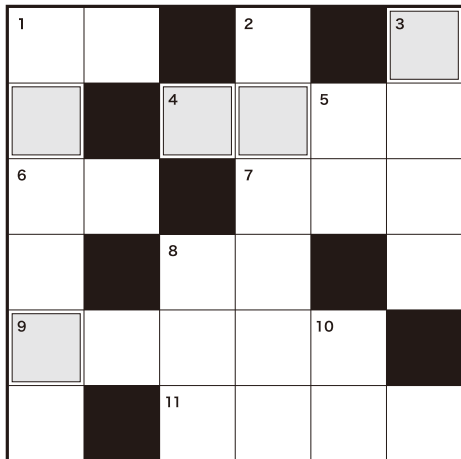
受付/午前8:30～12:00 夜診4:30～7:00
(予約制)
診療開始時間/午前9:00～ 夜診5:00～

おみや診療所

受付/午前8:30～12:00 夜診4:30～7:00
診療開始時間/午前9:00～ 夜診5:00～

	午前		午後		夜診		
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
月	予約診	予約診	予約診	予約診	予約診	予約診	
火	古田	土生	木下	小西	坂口	田端	
水			小西	内田	畑	三谷	
木	古田 (第1・第3)	古田 (心臓特診)	小西	土生	畑	上垣内	
金	古田		内田		村井	小西	
土			交代診療				

あなたも挑戦してみませんか



〈解き方〉
2重枠の5文字をうまく並べると言葉ができます。それが答えです。
ヒント ピリ辛です

- 1 徳島の旧国名、〇〇
- 2 大阪名物。爪楊枝で食べるまるの
- 3 ひどく急ぐさま。「〇〇〇〇〇切っ
- 4 大阪名物。爪楊枝で食べるまるの
- 5 無料、無骨
- 6 手慣れてすっかり身につけていることを「〇〇に入る」と言う
- 7 長風呂などで上気して火照る状態
- 8 「〇〇も仏もない」「〇〇のみぞ知る」
- 9 「今朝はゆで卵じゃなくてフライパンで焼いたわ」
- 10 ♪「桃太郎さん、桃太郎さん、お腰につけた〇〇だんご、1つ私にくださいな」
- 11 駅とホテルやデパートなどが一体化しているもの

ヨコのキー

タテのキー

応募方法

当選者発表

ハガキに、できた言葉と住所・氏名・年齢・電話番号をご記入ください。正解の方のうち、抽選で5名の方に図書カードをお送りします。

ハガキの余白に、紙面への意見、身の回りのできごと、短文芸などを書いてお寄せください。

掲載させていただいた方には、編集委員会より粗品をお送りします。ご意見等掲載に際し匿名を希望される方はその旨をお書き添えください。

● 〆切/12月末必着
● 発表/本紙255号
(2018年3月号)
● 宛先/8ページに掲載

さ	と	み	ゆ	み
ど	う	ぶ	つ	えん
	も	か	か	ぼ
ぜ	る	か	い	と
	こ	ん	か	う
あ	し	ご	し	ら

解答/No.189「あぶらぜみ」

和歌山市 浦野 敏様
和歌山市 栗本 順子様
和歌山市 寺村世希子様
和歌山市 服部 一亨様
貴志川町 仲村 房子様

ぶらり、紀のくに ミニ紀行 ⑬

小さな鉄道の旅② JR和歌山線・橋本市恋野

満生 明厳 (東中地区歩こう会)

奈良県境の隅田駅から南へ、紀の川対岸の高地に恋野の里はある。名前は、中世の中将姫悲話からとか。県道恋野幹線の沿道には、史跡や花木が多く、四季を通じて散策やドライブに好適。北に、金剛山南麓をせり上げる新興住宅地が一望できる。

ここからは余談。南寄り山地の奥は丹生川(玉川)の最上流部で筒香(高野町)と呼ぶ在所があつて、天野の丹生都姫神社(古代丹生族)発祥(水銀の産地)の地といわれる。



おしらせ



生協ハイキング

- 【難易度】について、生石山を【技術:5、体力:5】として概略表示。
- 第384回予定 納山例会「高森山」(284.5m) 8km
日程:2017年12月17日(日) 【技術:3 体力:4】
集合場所:和歌山市駅(8:29発特急サザン乗車)⇒みさき公園駅(下車)⇒9:51発コミュニティバス乗換⇒
歩行コース:バス停⇒大川集落⇒報恩講寺⇒高森山⇒森林公園⇒運動広場⇒南海加太駅
 - 第385回予定 新春初詣ウオーク「世界遺産 三谷坂」 13km
【丹生酒殿神社と丹生都比売神社】(登り急坂多し)
日程:2018年1月21日(日) 【技術:5 体力:5】
集合場所:和歌山駅(9:04発和歌山線奈良行乗車)⇒妙寺駅(9:54下車)
歩行コース:妙寺駅⇒三谷橋⇒丹生酒殿神社⇒鎌八幡宮⇒笠石⇒頼切地蔵⇒笠松峠⇒六本杉⇒二つ鳥居⇒八町坂⇒丹生都比売神社 帰路:4:30丹生都比売神社発バス乗車
※問合せ先:☎073-473-0668 安田まで

東地区・四箇郷老人連合会主催

何度も笑いの健康講座

9月8日(金)四箇郷地区会館にて四箇郷老人クラブ連合会主催の研修会が開かれ、古田先生が健康についてお話をされました。テーマは『高齢者の認知症予防と寝たきり予防』について。まず冒頭で『寿命』にふれられ、男女とも平均寿命と健康寿命(心身ともに自立し、健康的に生活できる期間)の差が10年ぐらいあると話す、「そんなに差があるのか」と皆さん少し驚いた様子でした。その後、加齢による体力・筋力低下について具体的な数値を述べられながら、寝たきりにつながる仕組みを説明されました。また古田先生ご自身の食生活を例にだしながら、高齢者にとって高タンパク質食が大事であること、そしてタンパク質をしっかりとりながら軽い運動(ウォーキング)をすると脳が活性化し、認知症予防につながるとお話をされました。



▲講演をする古田先生

連合会主催の研修会で古田先生が健康講座をするのは2回目ですが、実は四箇郷地区の老人会などの学習会で生協病院の医師が話をさせてもらうようになって10年になります。特に「古田先生の話はおもしろいから」と毎回人気です。今回も講座の途中で何度も笑いが起こっていました。ご近所の方が学習会に歩いて参加してみんなで笑いあう、それだけで健康になる気がしました。これからも皆さんと一緒に、地域の健康づくりをしていきたいと思えます。

治部煮(じぶに)



〈一人あたり〉エネルギー 270kcal
塩分 1.5g

★つくった人からひと言

※冷めても、おいしくいただけます。

※大根のかわりに揚げなすを最後に加えてもおいしいです。

材料(1人分)

鶏もも肉…… 100g	大根…………… 50g	だし汁………… 1/2カップ
酒…………… 小さじ1	人参…………… 20g	A {しょうゆ… 大さじ 1/2
しょうが汁… 少々	干しいたけ… 1枚	みりん……… 大さじ 1/2
小麦粉………… 小さじ2	さやいんげん… 3本	

〈作り方〉①干しいたけは、水でもどしてから軸を取りそぎ切にする。

鶏肉はそぎ切りにし、酒・しょうが汁をまぶして下味をつける。

大根・人参は、いちょう切りにする。

さやいんげんは、スジを取り、茹でて斜めに切る。

②だし汁で大根・人参を軟らかく煮る。

③鶏肉に小麦粉を薄くまぶす。

④大根・人参にAで味付けをし、しいたけも入れる。

⑤鶏肉を一切れずつ加え、4～5分煮る。

⑥最後にさやいんげんを入れて、ひと煮立ちさせ器に盛り合わせる。

※料理とレシピは、和歌山生協病院食養課。



◆小説『二十四の瞳(壺井栄作)』で、昭和8年3月、大石先生は同僚の片岡先生が校長室で警察に取り調べられているのを知りびっくりする。警察が探しているのは、隣の町の稲川という教師が発行した『草の実』という文集であった。片岡先生は警察に連れて行かれた。『草の実』は大石先生が借りていた。さっそく火鉢で文集は焼かれた。◆小説『銃口』(三浦綾子・作)の北森竜太は、恋人の芳子と「北海道綴方教育連盟」の講習会に初めて参加した。ある日、竜太は治安維持法違反で検挙された。◆戦前、治安維持法で検挙された人々は、全国で7万5千人。宗教者、紙芝居、学者、演劇人、教員、編集者などの民間人であった。

編集後記

〒640-8390
和歌山市有本一三八―四
和歌山中央医療生協
「健康とくらし」
編集委員会

※パズルの答え、
ご意見・ご連絡は左記まで。